

# 小須戸・新潟みなみ商工会景況調査報告書

|      |        |
|------|--------|
| 組織番号 | 021    |
| 商工会名 | 小須戸商工会 |
| 報告者名 | 熊倉 一成  |

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

ア 対象地区 小須戸・新潟みなみ商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 40 事業所 (うち小規模事業者数 33 事業所)  
ウ 回答企業数 40 事業所 (うち小規模事業者数 33 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

令和5年7月～令和5年12月  
(調査時点 令和5年12月1日)

### (3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

|       | 調査対象 |        | 有効回答 |        |
|-------|------|--------|------|--------|
|       | 企業数  | 構成比    | 企業数  | 構成比    |
| 製造業   | 6    | 15.0%  | 6    | 15.0%  |
| 建設業   | 10   | 25.0%  | 10   | 25.0%  |
| 卸・小売業 | 11   | 27.5%  | 11   | 27.5%  |
| サービス業 | 13   | 32.5%  | 13   | 32.5%  |
| 合計    | 40   | 100.0% | 40   | 100.0% |

## 2. 地域内産業全体の景況概要

世界情勢の不安定さに伴い、原材料価格を始め、あらゆるものの価格が高騰しており、全ての業種に引き続き影響を受けている。  
令和6年上期の景況判断についても3割を超える事業所が「悪化」の回答となっている。

### 【後継者の状況】

今回調査では、後継者ありの事業所が3割強との結果。  
事業承継支援センター等、関係機関との連携により第三者承継を含めた後継者とのマッチング事案も上がってきている。

|        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 後継者 あり | 15事業所 | 37.5% |
| 後継者 なし | 25事業所 | 62.5% |

### 【売上高】

前年同月比においては、各回答がほぼ同数であるが、時間の経過とともに減少見込みの事業所が増加。  
売上高について、見通しの厳しい結果となっている。

#### 前年同期比

| 増加 | 不変 | 減少 |
|----|----|----|
| 13 | 13 | 14 |

#### 前期比

| 増加 | 不変 | 減少 |
|----|----|----|
| 8  | 15 | 17 |

#### 今後の見通し

| 増加 | 不変 | 減少 |
|----|----|----|
| 11 | 11 | 18 |

### 【採 算】

採算については、仕入価格高騰のなか、不変の回答が一定数あるものの、後述のとおり、販売単価についても不変回答が多いことから、企業努力により、維持している状況であることが見受けられる。

#### 前年同期比

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 7  | 19 | 14 |

#### 前期比

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 6  | 16 | 18 |

#### 今後の見通し

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 8  | 18 | 14 |

### 【仕入単価】

業種を問わず、仕入価格の高騰に引き続き直面している。  
また、わずかではあるものの、前年同期比から改善の傾向が見受けられるが、当面、予断を許さない状況である。

#### 前年同期比

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 32 | 8  | 0  |

#### 前期比

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 27 | 12 | 1  |

#### 今後の見通し

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 27 | 11 | 2  |

**【販売（客）単価】**

仕入単価上昇を受けた事業所の価格転嫁も令和4年までにひと段落か、約半数の事業所において、販売単価の変化は見られない。

**前年同期比**

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 13 | 22 | 5  |

**前期比**

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 10 | 24 | 6  |

**今後の見通し**

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|----|----|----|
| 11 | 19 | 10 |

**【資金繰り】**

3分の2の事業所が資金繰りについては、「不変」と回答する一方、「悪化」と回答した事業所も3分の1程度おり、引き続き景気の鈍化を裏付けるものとなっている。

**前年同期比**

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 3  | 27 | 10 |

**前期比**

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 2  | 27 | 11 |

**今後の見通し**

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 2  | 25 | 13 |

**【雇用動向】**

経営環境は依然厳しいものの、雇用動向において、「不変」回答が多数を占め現時点では、大きな影響はない。

**前年同期比**

| 増加 | 不変 | 減少 |
|----|----|----|
| 1  | 37 | 2  |

**前期比**

| 増加 | 不変 | 減少 |
|----|----|----|
| 0  | 38 | 2  |

**今後の見通し**

| 増加 | 不変 | 減少 |
|----|----|----|
| 1  | 35 | 4  |

**【景況判断】**

景況については約半数は不変、一部、好転の兆しがみえるものの、業種により（小売・サービス業）において、悪化を見通している事業所が増えており、回復の見通しは見えてこない。

**前年同期比**

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 5  | 21 | 14 |

**前期比**

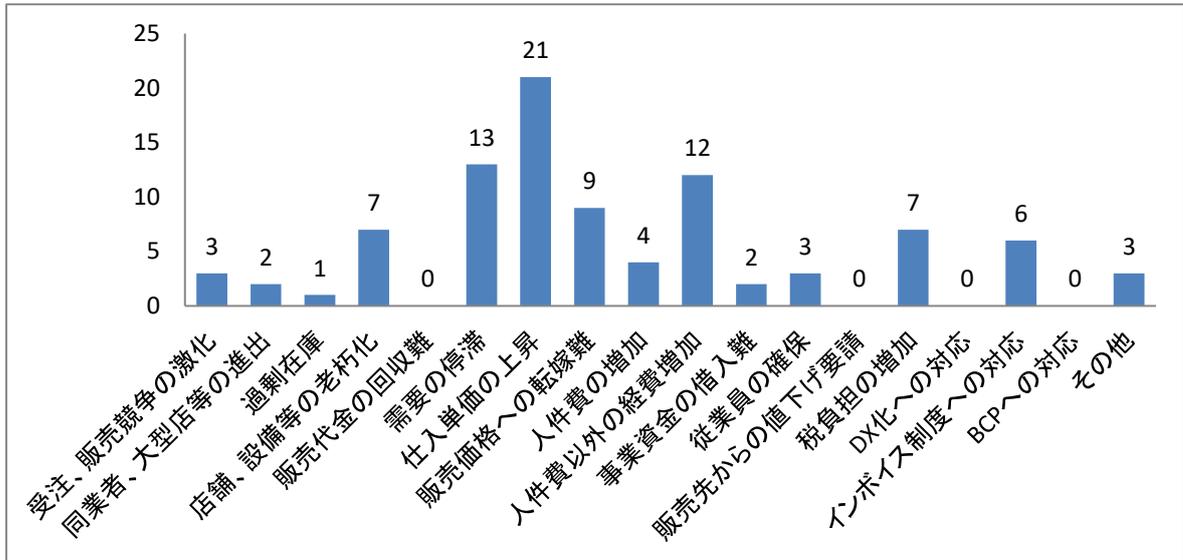
| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 3  | 24 | 13 |

**今後の見通し**

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|----|----|----|
| 5  | 22 | 13 |

### 【経営上の問題点】

問題点として、仕入単価の上昇、需要の停滞、人件費以外の経費増加が上位となっている。コロナ禍での各種調査においては、需要の低下が経営上の問題点であるという回答が多くを占めていたが、回答結果が分散しているという状況が、局面はコロナ禍から移行していることを窺わせる。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

一定数の従業員がいる企業ほど、令和六年度に売上の上昇を見越しているものの、仕入単価の上昇スピードがそれを上回り、採算に結び付いていないという状況が見受けられる。

また、回答いただいた企業の半数が、設備の老朽化を問題点としていることも地域製造業が現在抱えている問題点として、顕著となっている。

#### (2) 建設業

売上推移について、一定の傾向はないものの、仕入単価上昇の回答、及び問題点としている事業所が多い。販売単価も不変との回答が最も多く、それに伴い、資金繰りの面で厳しい状況が窺われる。

地域のみならず、商圈を県外まで広げ単価向上を図るという対応をとっているという回答もいただいております、これから一層「受注・販売競争」が激化する可能性を秘めている。

#### (3) 卸・小売業

仕入単価の上昇・人件費以外の経費増加を問題点としている企業が多いものの資金繰りは不変との回答が多数を占めていることは救いか。

とは言え、景況判断の回答は、悪化しているとの回答が多く、個別の問題点も「需要の停滞」と回答している企業も他業種と比し、多いため、引き続き注意が必要である。

#### (4) サービス業

飲食店においては、コロナ禍を契機とした消費者の行動形態変化の影響が引き続き大きく、以前の状態には戻り切れていない。飲食業のみならず近年、価格改定を行ったお店は多いが、調査から「販売価格への転嫁難」を問題としている事業所数が最も多い業態であることから、さらなる価格改定を含めた慎重な判断が求められる。

(様式⑥)

No.

### 景況調査ヒアリングシート (令和5年度)

調査対象期間 令和5年7月～12月

(調査時点 令和5年12月1日)

|                 |        |                                      |  |
|-----------------|--------|--------------------------------------|--|
| 商 工 会 名         | 商 工 会  | 担当職員名                                |  |
| 企 業<br>の<br>概 要 | 業 種    | 1:製造 2:建設 3:卸・小売業 4:サービス他            |  |
|                 | 従業員数   | 1:0人 2:1人～2人 3:3人～5人 4:6人～20人 5:20人超 |  |
|                 | 企業区分   | 1:小規模事業者 2:小規模事業者以外                  |  |
|                 | 後継者の有無 | 1:有 2:無                              |  |

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

|          | 前年同期(R4年7月～12月)と比較して | 前期(R5年1月～6月)と比較して | 今期(R5年7～12月)と比較した来期(R6年1～6月)の見通し |
|----------|----------------------|-------------------|----------------------------------|
| 売 上      | 1.増加 2.不変 3.減少       | 1.増加 2.不変 3.減少    | 1.増加 2.不変 3.減少                   |
| 採算(経常利益) | 1.好転 2.不変 3.悪化       | 1.好転 2.不変 3.悪化    | 1.好転 2.不変 3.悪化                   |
| 仕 入 単 価  | 1.上昇 2.不変 3.低下       | 1.上昇 2.不変 3.低下    | 1.上昇 2.不変 3.低下                   |
| 販売(客)単価  | 1.上昇 2.不変 3.低下       | 1.上昇 2.不変 3.低下    | 1.上昇 2.不変 3.低下                   |
| 資 金 繰 り  | 1.好転 2.不変 3.悪化       | 1.好転 2.不変 3.悪化    | 1.好転 2.不変 3.悪化                   |
| 雇 用 動 向  | 1.増加 2.不変 3.減少       | 1.増加 2.不変 3.減少    | 1.増加 2.不変 3.減少                   |
| 景 況 判 断  | 1.好転 2.不変 3.悪化       | 1.好転 2.不変 3.悪化    | 1.好転 2.不変 3.悪化                   |

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化      ②同業者、大型店等の進出      ③過剰在庫  
④店舗、設備等の老朽化      ⑤販売代金の回収難      ⑥需要の停滞  
⑦仕入単価の上昇      ⑧販売価格への転嫁難      ⑨人件費の増加  
⑩人件費以外の経費増加      ⑪事業資金の借入難      ⑫従業員の確保  
⑬販売先からの値下げ要請      ⑭税負担の増加      ⑮DX化への対応  
⑯インボイス制度への対応      ⑰BCPへの対応  
⑱その他( )

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

|  |
|--|
|  |
|--|